



19日までに緊急事態宣言が解除されませんでした。したがって、楽しみ会は3月9日に延期になりました。中止ではないので、その日を楽しみにして、また子供たちと創り上げていこうと思います。日にちがあることで新たなことが思いつくかもしれません。これをチャンスと捉えることにしましょう！

### お客さんに披露すると…

なつめさんとこあらさんにお客さんになってもらって、ももたろうの劇を観てもらいました。お客さんが来てもらうことを楽しみにしていた子供たちですが、いざ始まるとみんなの様子が違ったのです。表情が強張っている…、声が小さい…、早口になっている…。明らかに緊張していたのです。それでも、セリフが出てこないことはないし、ちゃんとお話は最後まで演じることができました。それは自分たちで作ってきたことが自信になっているからこそだと思います。

劇が終わった後に子供たちにどうだったか聞いてみました。「楽しかった。」という声がある中、「恥ずかしかった。」「緊張した。」という声もたくさん聞かれました。率直な気持ちだと思います。「観られるってことは誰だって緊張するよ。」と話し、みんな同じ気持ちであることを伝えました。お客さんに感想を聞いたら、「鬼と戦うところが面白かった。」と言われたことで、「大きく動くとき喜んでもらえる」ことに気付いた子供たちは、次はもっと大きい声や動きでやろうと決めていました。

後日、学校運営協議会がありました。このときにも劇を披露しました。前回と子供たちの表情が違い、声や動きが明らかに大きいのです。後ろまで通る声でセリフを言っていました。子供たちに聞いてみると、「恥ずかしかったけど、がんばった。」と言っていました。恥ずかしい気持ちは同じですが、そこを乗り越えようとしているところから心の育ちを感じました。それをみんなで認め合うことで一人一人の育ちを喜び合っていきたいです。



### 描きたい塗りたい作りたい！

作品袋など卒園に向けた製作をしています。子供たちに話をしたり、私が準備をしたりしていると、子供たちが集まってきます。“じっくり丁寧に”が、子供たちの取り組む姿から伝わってきます。思うような出来になることが楽しさにつながっているのでしょう。



### 【目指すは絵本の中の校長先生】

びゅんびゅんごまをお家でも挑戦している子もいるようです。何と手と足で2つ同時に回せるようになった名人がいます。「よーし、今度



は3個で挑戦だ！」と意気込んでいます。絵本を見たときは「そんなのできないでしょ！」と言っていた子供たちですが、できるかもしれないという気持ちに変わってきています。



絵本の中で校長先生は4個同時に回しています。目指すはこれ！！  
『びゅんびゅんごまがまわったら』（作：宮川 ひろ、絵：林 明子、童心社）